



する歴史的な課題であり、近いうちに終わる気配がありません。 LexisNexis® Risk Solutionsは、制裁の状況がどの程度大きく変化したか、またコ ンプライアンス担当者にとって今現在、そして今後どのような影響があるのか

ウクライナ情勢を受けて、私たちは、かつてないグローバルな制裁活動を 目の当たりにしています。そのスピードと規模は、コンプライアンスに関

を理解すべく、2022年2月から3月にかけて、主な発動規制当局である欧州連合 (EU)、外国資産管理室(OFAC)、英国金融制裁執行局(OFSI) の制裁データを分析 しました。このインフォグラフィックにおけるデータは、2022年2月21日から3

2月21日 2月24日 3月1日 3月2日 3月8日 3月11日 米国大統領が OFSIがロシ EUがロシア金 米国大統領が ロシア軍が ア中央銀行

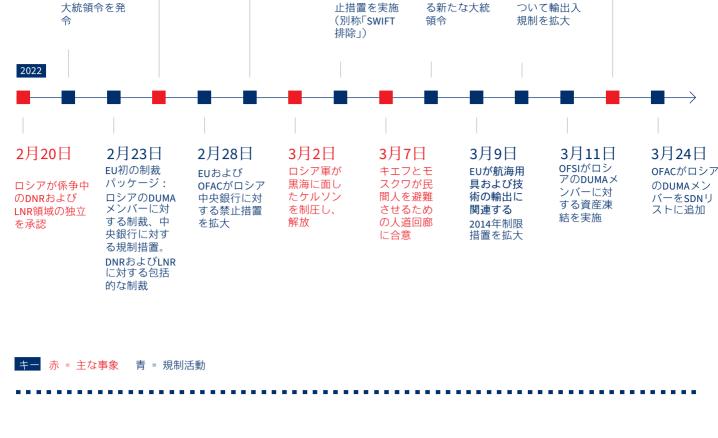
(LNR)の分離独立を認め、一連の軍事・規制を開始しました。

主な事象と規制の動きに関する時系列

OFACがロシア ウクライナが ウクライナ ロシアの降伏 融機関7行に ロシアのエネ 発およびロシ DNRおよびLNR 要求を拒否 地域に対する に侵攻 に対する禁 対して金融 ルギーの輸入 ア向けの幅広 メッセージン 包括的な制裁 止措置を拡 および投資の いカテゴリー グサービス禁 のアイテムに 措置の新たな 禁止を拡大す

2月20日、プーチン大統領は、ウクライナのドネツク人民共和国(DNR)とルガンスク人民共和国

3月21日



重要ポイント

リスト更新回数 (EU, OFAC

およびOFSI)

カウント

OFSI)

リスト更新

指定のタイプ

OFSI

EU

OFAC

追加指定のネット

(EU, OFACおよび



ロシア関連プログラム

2022年2月21日-3月31日



+2384

+150

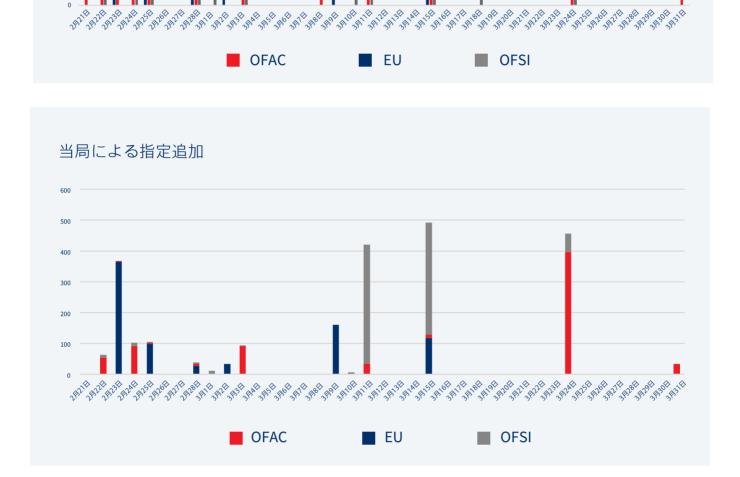
すべての制裁プログラムとの比較

2021年2月21日-3月31日

時間経過に伴うリストの更新

り、1日に数回更新されたリストもありました。

制当局は6週間の間に大量のリスト更新を行いましたが、その多くは紛争の初期に集中してお





ロシアからの輸入

• 鉄鋼製品

• 固体化石燃料

• その他各種製品

一部の化学・鉄鋼製品

属、アルコールを含む)

(水産物、肥料、セメント、貴金

• 航空機および宇宙開発関連製品 ・航海用具および技術 ラグジュアリー製品

• ジェット燃料および関連製品

• 石油精製、天然ガスの液化に使

• 軍事転用品(二重用途物品, DUI)

ロシアへの輸出

• ハイテック製品

用される機器

• 工業用産業機械

• 石油機器

- ロシアとウクライナの危機は、2014年のクリミア不法併合にさかのぼります。 当時実施されたEU、米国、英国の制裁プログラムはその後も維持されており、2022年に おける一連の行動の法的基盤になっています。
- EU規制 (例:規制 2022/260、規制 2022/261および規制 2022/262)の過半数は

た規制です。

有します。国連安全保障理事会ではロシアが拒否権を持つため、多数の国が独自の制裁 対応を実施しました。

を拡大するものです。

制裁の規模

2300+

制裁指定

アラートの

堆積数が多い

まとめ

国連の対応は?



OFAC、EU、OFSI (英国)と並んで、国連(UN) も制裁を実施し、定期的に最新情報を発表

3月2日、国連総会(UNGA)で「ロシア連邦による2022年2月24日のウクライナでの特別軍 事作戦の宣言を非難する」決議が採決されました。圧倒的な非難を浴びたにもかかわら ず(加盟国193カ国中141カ国がこの決議を支持)、国連総会は制裁を発動する権限を有 さず、その権限は、常任理事国すべての承認がある場合の国連安全保障理事会(UNSC)が

更新スピード

リスト更新

プロセスへの圧力

■ 今後数ヶ月間、どのような展開になるかは誰にも予測できませんが、ウクライナ情勢 に関連した規制当局の活動のスピードと広がりは、多くの産業における混乱を招き、 特定の個人、企業、航空機、船舶、物品、場所との取引を制限するために事実上あら

■ 数年前から観測されていた傾向が、一つのターゲットに照準を合わせて、数週間のう。 ちに加速的に増幅されてきました。その最たる例が多国間制裁で、国連安全保障理事 会でコンセンサスが得られない場合、各国が独自のプログラムを調整し、実施してい

■ 制裁は迅速に行われ、ゆっくりと解除されることを歴史は示唆しています。最終的に は解除されても、多くの場合その影響が残ります。現在行われているような広範な制

上記の規制は、2022年2月と3月に実施されたものを指しています。EUのロシア産原油

既存プログラムによる新たな状況への対応

の一部輸入禁止を筆頭に、その後も追加規制が継続的に実施されています。



負担の大きい

アラート修正



ます。直近では、2021年に米国、EU、英国、カナダがベラルーシに対して協調して 制裁を行った際に、これが確認されました。ウクライナ情勢に対しては、米国、 EU、英国が共同戦線を張り、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドなどの 国々が続きました。多くの欧州諸国:ウクライナ、グルジア、スイス、ノルウェー、 アイスランド、バルカン諸国がEUと足並みを揃えました(セルビアを除く)。この取

す。

ています。

ゆるタイプの制裁を展開しています。

裁は、制裁を受ける側だけでなく、制裁を行う側にも影響を及ぼします。ロシアの化 石燃料や天然資源に対して課された、また今後見込まれる制裁措置(および将来の供 給を見越した投機)の結果、これらの商品の価格は高騰し、制裁を行う諸国の消費者 に多大な影響を及ぼしています。エネルギー市場以外にも、専門家はウクライナとロ シアそれぞれの小麦と肥料の生産規模が大きいことから、世界的な食糧危機が迫って いると警告しています。この欧州の紛争の影響は世界規模で、世界の貿易と経済に重 大な影響を及ぼし、サプライチェーンや国際関係が長期的に混乱する可能性が高まっ

■ 政府は特定の外交政策目標を達成するためにこれらの制裁や制限を課していますが、 民間企業にはそれを遵守する義務があり、その結果、大規模なコンプライアンスにお ける課題が発生し、近い将来解消されそうにもありません。

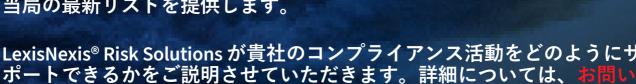
向けた世界中の主要な制裁機関、法執行機関、メディアおよび金融規制 当局の最新リストを提供します。 LexisNexis® Risk Solutions が貴社のコンプライアンス活動をどのようにサ

当社のデータソリューションは、規制と制裁の包括的なデータソースに

制裁の状況は常に流動的です。制裁コンプライアンスプログラムには、 これまで以上に質の高い監視リストデータを備えることが不可欠です。 LexisNexis® Risk Solutionsのデータで、正確かつタイムリーな情報力を活



り組みは西洋に限定されず、日本、韓国、シンガポールも同様の制裁を実施していま



Copyright © 2022 LexisNexis Risk Solutions Group.

用してください。

合わせください。

NXR15527-00-0522-JA-JP